1406874HF1303

MITSUBISHI ELECTRIC

三菱学校用ロスナイ

形　名

SCH-50ESH2
SCH-40ES2 （天吊露出形）

SCF-50LS2
SCF-40LS2 （床置形）

据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この製品の性能、機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。
据付工事の前に、この据付工事説明書をよくお読みください。
■据付工事は販売店・工事店さまが実施してください。間違った工事は、故障や事故の原因になります。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。
据付工事が終わりましたらこの据付工事説明書と共に、お客さまに必ずお渡しください。

■この製品にはコントロールスイッチ他、別売のシステム部材が必要です。カタログ等により別途ご用意ください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

分解禁止

- **改造や必要以上の分解はしない**
  火災・感電・けがの原因となります

風呂・シャワー室での使用禁止

- **浴室など湿気の多いところには、本体・壁スイッチとも据付けない**
  感電や漏電の原因となります

指示に従い必ず行う

- **交流100Vを使用する**
  直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります
- **本体の据付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う**
  落下によりけがをすることがあります
- **配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者である電気工事士が安全・確実に行う**
  接続不良や誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります
- **漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する**
  漏電した場合、火災のおそれがあります
- **指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する**
  接続に不備があると火災のおそれがあります
- **外気の取り入れ口は燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ**
  新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になるおそれがあります
- **金属製ダクトがメタルラス張り、ワイヤレス張り、ステンレス板などの金属と電気的に接続しないように取付ける**
  接続されていると漏電した場合、火災の原因になります

注意

誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

禁止

- **高温（40℃以上）になる場所や直接炎があたったり、油煙の多い場所には据付けない**
  火災のおそれがあります
- **機械および化学工場など酸、アルカリ・有機溶剤・塗料など有害ガス・腐食性成分を含んだガスが発生する場所には据付けない**
  絶縁劣化による漏電火災の原因になります
- **塩害・温泉害などの発生している場所には据付けない**
  絶縁劣化による漏電火災の原因になります

指示に従い必ず行う

- **据付けの際は手袋を着用する**
  着用しないとけがをすることがあります
- **据付け後、長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る**
  絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります
- **吊りボルト・ナット・ワッシャーは必ず指定のものを使用する**
  強度の弱いものを使用した場合は、落下の原因になります
- **開梱後すみやかに付属品のダクト接続フランジを取付ける（SCF-40LS2、SCF-50LS2）**
  取付け前に開口部へ手を掛けたりするとけがの原因になります

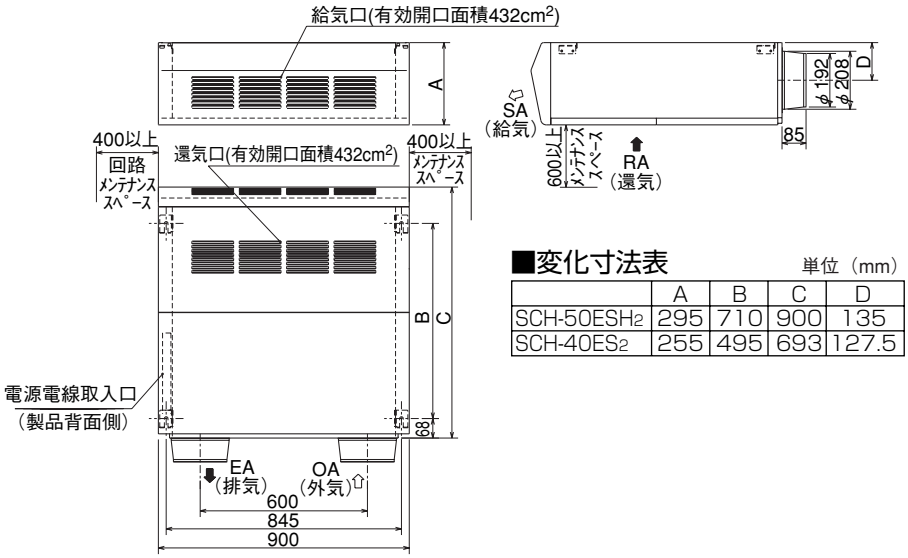
安全のために必ず守ること　つづき

お　願　い

- 高温多湿（30℃以上の時、相対湿度80%以上）になる地域や霧の多発地域で使用する場合、エレメント内部に結露が生じてドレンが発生することがあります。このような条件下では、耐湿形ロスナイをご使用ください。
- 製品を運転しない場合でも室内外の圧力差や外風により外気が製品内に侵入するおそれがあります。電動ダンパーの併用をおすすめします。
- 寒冷地や外風の強い地域ならびに霧の発生し易い場所では運転停止時に、冷気・外風・霧が侵入することがあります。電動ダンパーの併用をおすすめします。
- 寒冷地地域などでは使用条件範囲内で使用する場合でも、外気条件と室内温湿度条件によって、本体およびダクト接続部他が結露、結氷するおそれがありますので、使用条件や注意事項を必ずご確認の上、寒冷地運転用回路（PZ-50KU2）をご使用ください。
  ※結露条件例　外気：−5℃以下、設置場所露点温度：10℃以上（室内温度22℃以上で相対湿度50%以上のときなど）
- ベントキャップ・丸形フード・深形フードを直接雨水のかかる場所や強風が吹く場所に取付けないでください。
- 雨水浸入防止対策として耐外風形ウェザーカバー（PG-20TWC）をご使用ください。
- 屋外フード近くに窓面などがあり、照明光に虫が集まりやすい環境下でご使用の場合には、別売の虫侵入防止用部品(受注対応品)などを取付けることをおすすめします。（室内給気へ小さな虫が侵入するおそれがあります）
- 本体表面に貼り付けた断熱材に直射日光が当たらないように施工してください。

外形寸法図

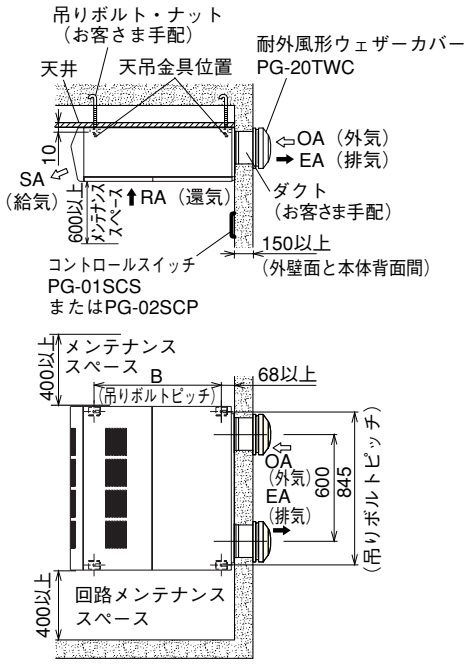
■SCH-50ESH2
SCH-40ES2



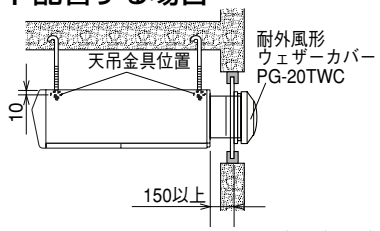
■変化寸法表　単位（mm）

	A	B	C	D
SCH-50ESH2	295	710	900	135
SCH-40ES2	255	495	693	127.5

据付例

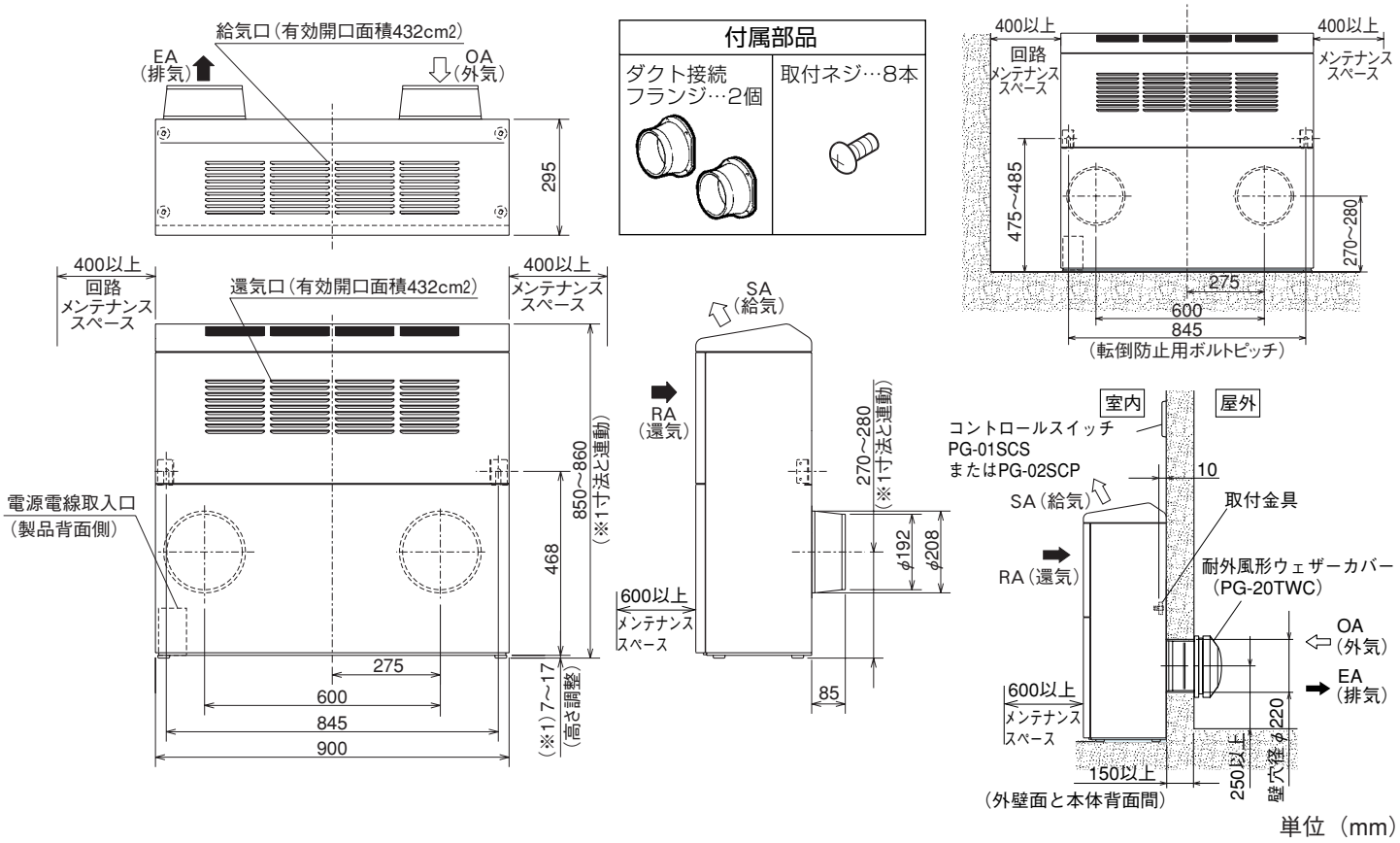


窓をアルミ板に変更して
ダクト配管する場合



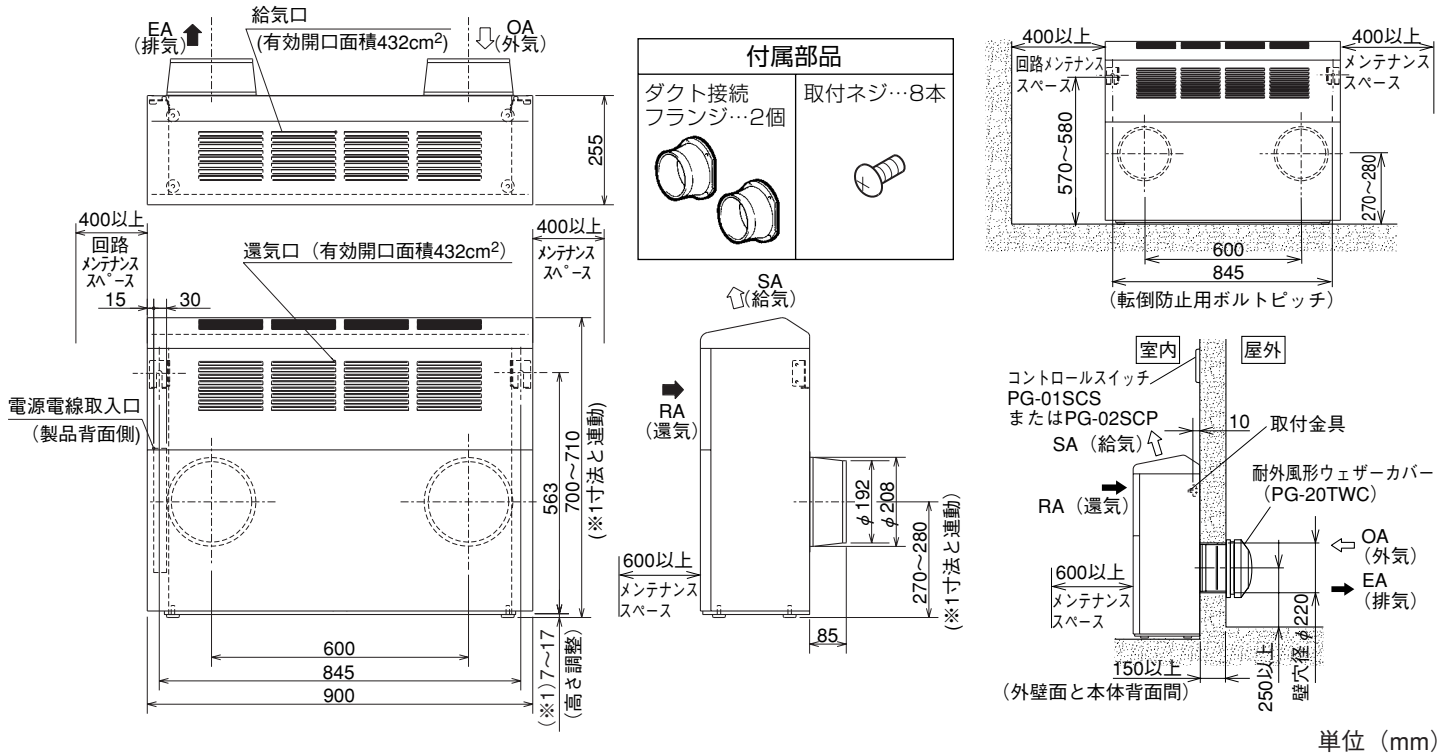
単位（mm）

■SCF-50LS2



単位（mm）

■SCF-40LS2

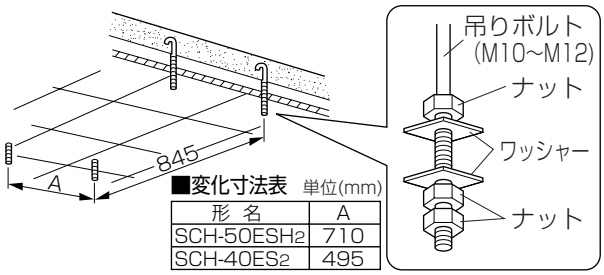


単位（mm）

据付方法 SCH-50ESH2 SCH-40ES2（天吊露出形）の場合

据付前の準備

1



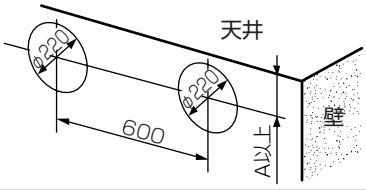
■変化寸法表 単位(mm)

形 名	A
SCH-50ESH2	710
SCH-40ES2	495

外形寸法図および据付例を参照し、天吊金具取付位置に市販の吊りボルト(M10～M12)をあらかじめ製品質量に十分耐えるところに埋め込む

1. 吊りボルトは本体を据付けたとき左図のようにダブルナットで締め付けられるよう長さを調整する。
2. 左図のように市販のワッシャー(M10で□32mm以上、M12で□36mm以上)・ナットを取付ける。

2



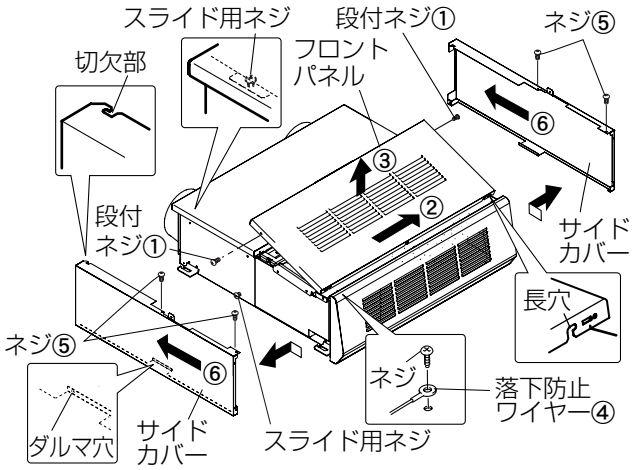
■変化寸法表 単位(mm)

形 名	A
SCH-50ESH2	135
SCH-40ES2	128

壁面に給排気穴をあける

外形寸法図・据付例を参照し、壁穴φ220mmをあける。
※吊りボルトピッチ、給排気穴ピッチは±2mm以内にて施工してください。

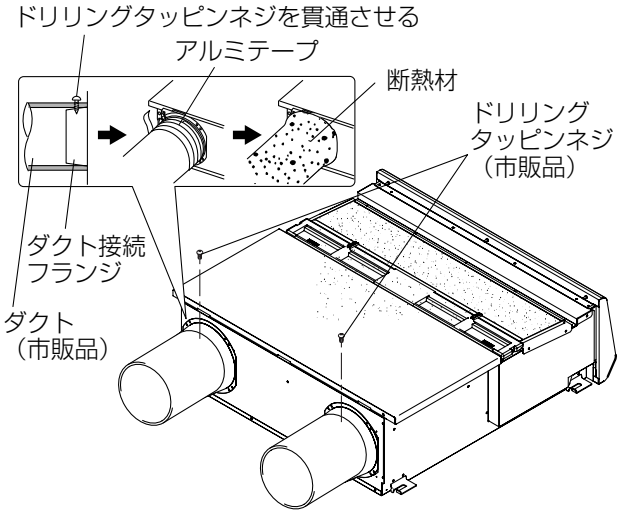
3



フロントパネル・サイドカバーをはずす

①フロントパネル両側面の段付ネジ各1本をはずす。
②フロントパネルを矢印の方向にずらし、長穴をピンからはずす。
③フロントパネルを矢印の方向に引き出す。
④落下防止ワイヤーの本体に固定のネジ(各1本)をはずす。
⑤左右のネジ(各2本)をはずす。
⑥サイドカバーを後方へスライドして切欠部とダルマ穴をスライド用ネジからはずしてサイドカバーを取りはずす。

ダクト接続

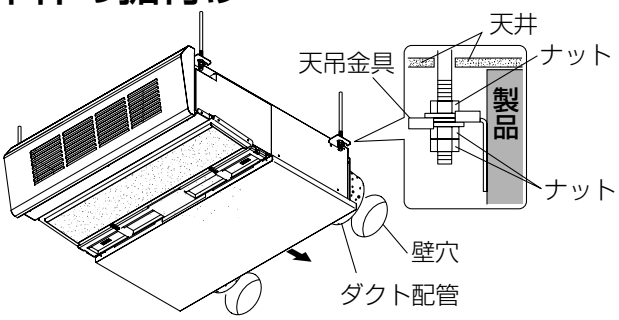


1. 市販のダクトを外壁から出ない長さに切断する。（ダクト切断寸法は外壁面から10mm以内とする）
2. ダクト接続フランジに切断したダクト(φ200)を差し込み、市販のドリリングタッピンネジ1本で固定する。
3. ダクト接続フランジとのすき間は、市販のアルミテープなどを巻き付ける。
4. 給気および排気ともダクト・ダクト接続フランジ部分は必ず結露防止のため断熱処理をする。

お願い

- 本体内およびダクトに異物(紙・ビニールなど)が入っていないことを確認してください。
- 室外のシステム部材(別売)耐外風ウェザーカバー(PG-20TWC)の取付けは製品本体据付け後、耐外風ウェザーカバーに同梱の取付工事説明書に従って取付けてください。

本体の据付け



1. ダクト配管を壁穴へ差し込みながら天吊金具を吊りボルトに掛ける。
2. 本体の水平を調節してゆるみ防止のためダブルナットにて確実に締め付ける。

お願い

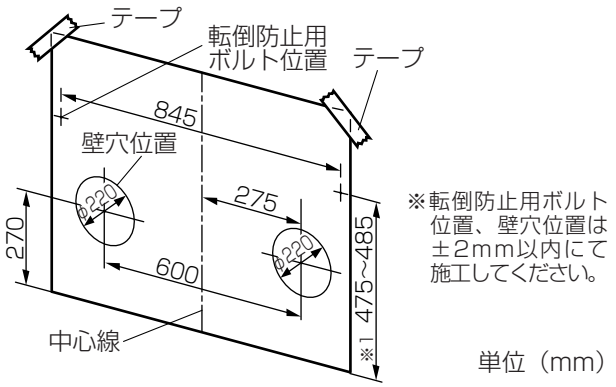
- 据付けによる製品の変形を防ぐため、製品は天井に当てず、水平に取付けてください。

SCF-50LS2 SCF-40LS2（床置形）の場合

据付前の準備

SCF-50LS2

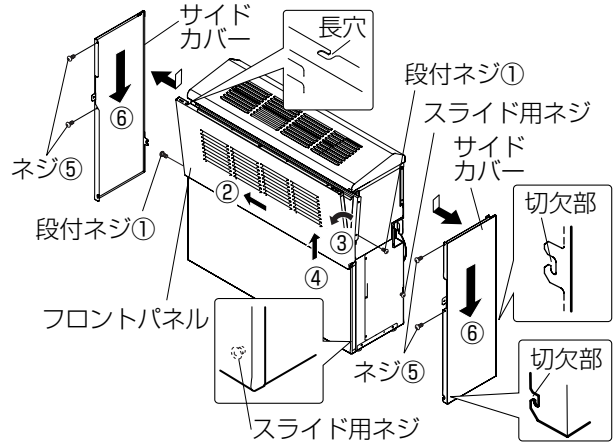
1



転倒防止用ボルトの埋め込みと壁穴あけ

1. 梱包材を兼ねている型紙を据付位置にあてがう。（テープなどで止める）
2. 壁に転倒防止用ボルトの埋め込む位置を決める。
   - ※1型紙の寸法は床から475mmの位置に印がありますが、製品本体の据付けは床から475～485mmの間で調整できます。
3. 壁穴位置を決める。
4. 転倒防止用ボルトを埋め込む。
   - 転倒防止用ボルトは市販のアンカーボルト(M8)を使用し、確実に固定する。
   - ダブルナットで締め付けられるよう長さを調整する。
5. 壁穴(φ220mm)をあける。

2

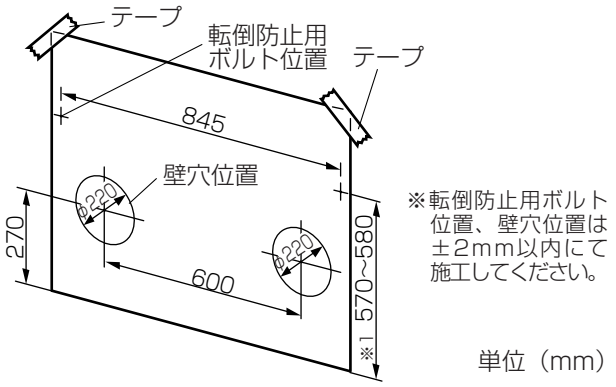


フロントパネル・サイドカバーをはずす

①フロントパネル両側面の段付ネジ各1本をはずす。
②フロントパネルを左にずらし、長穴をピンからはずす。
③フロントパネル上部を手前にかたむける。
④フロントパネルを持ち上げてはずす。
⑤左右のネジ(各2本)をはずす。
⑥サイドカバーを下へスライドして切欠部をスライド用ネジからはずし、サイドカバーを取りはずす。

SCF-40LS2

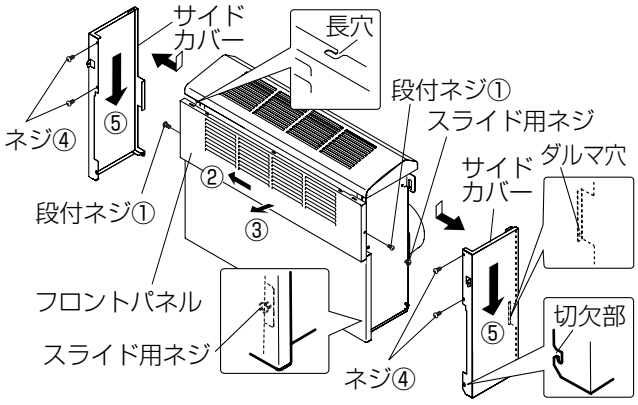
1



転倒防止用ボルトの埋め込みと壁穴あけ

1. 梱包材を兼ねている型紙を据付位置にあてがう。（テープなどで止める）
2. 壁に転倒防止用ボルトの埋め込む位置を決める。
   - ※1型紙の寸法は床から570mmの位置に印がありますが、製品本体の据付けは床から570～580mmの間で調整できます。
3. 壁穴位置を決める。
4. 転倒防止用ボルトを埋め込む。
   - 転倒防止用ボルトは市販のアンカーボルト(M8)を使用し、確実に固定する。
   - ダブルナットで締め付けられるよう長さを調整する。
5. 壁穴(φ220mm)をあける。

2



フロントパネル・サイドカバーをはずす

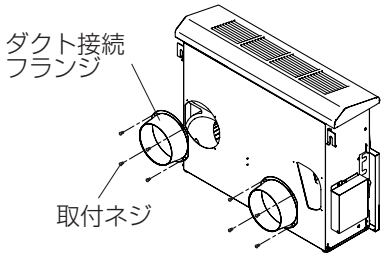
①フロントパネル両側面の段付ネジ各1本をはずす。
②フロントパネルを左にずらし、長穴をピンからはずす。
③フロントパネルを手前に引き出してはずす。
④左右のネジ(各2本)をはずす。
⑤サイドカバーを下へスライドして切欠部とダルマ穴をスライド用ネジからはずしてサイドカバーを取りはずす。

据付方法 つづき

SCF-50LS2
SCF-40LS2（床置形）の場合

ダクト接続

1



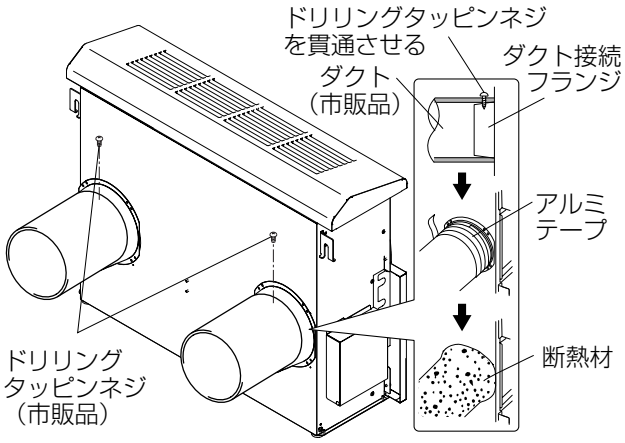
ダクト接続フランジの取付け

ダクト接続フランジを付属の取付ネジ各4本で本体に締め付け固定する。

お願い

- ダクト接続フランジを取付ける前に本体内およびダクトに異物(紙・ビニールなど)が入っていないことを確認してください。

2



ダクト接続

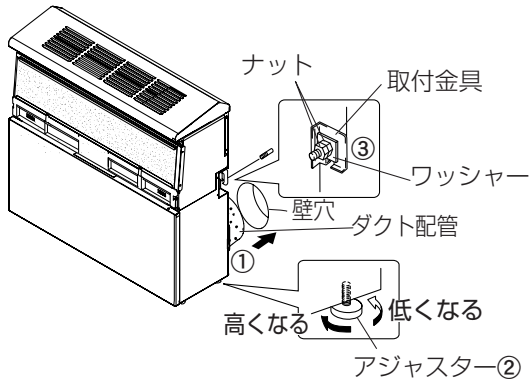
1. 市販のダクトを外壁から出ない長さに切断する。
   （ダクト切断寸法は外壁面から10mm以内とする）
2. ダクト接続フランジに切断したダクト(φ200)を差し込み、市販のドリリングタッピンネジ1本で固定する。
3. ダクト接続フランジとのすき間は、市販のアルミテープなどを巻き付ける。
4. 給気および排気ともダクト・ダクト接続フランジ部分は必ず結露防止のため断熱処理をする。

お願い

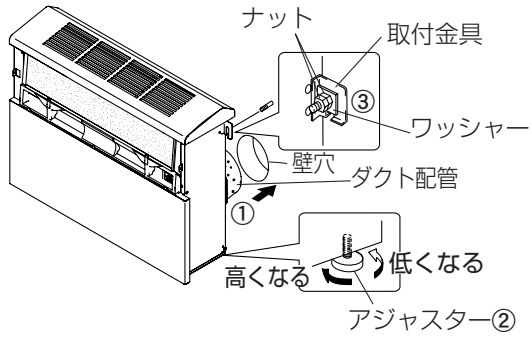
- 屋外のシステム部材(別売)耐外風ウェザーカバー(PG-20TWC)の取付けは製品本体据付け後、耐外風ウェザーカバーに同梱の取付工事説明書に従って取付けてください。

本体の据付け

SCF-50LS2



SCF-40LS2



①ダクト配管を壁穴へ差し込みながら取付金具を転倒防止用ボルトに掛ける。
②本体の水平を確認する。
　アジャスターを回す　右へ回すと低くなる
　　左へ回すと高くなる
③市販のワッシャー(□26mm以上)・ナット(M8)にて確実に締め付ける。

お願い

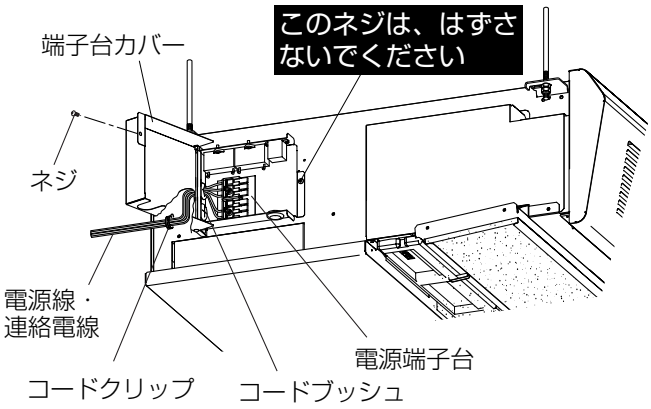
- 製品本体の転倒防止に木ネジを使用する場合は強度が十分か確認してください。

電気工事

⚠警告

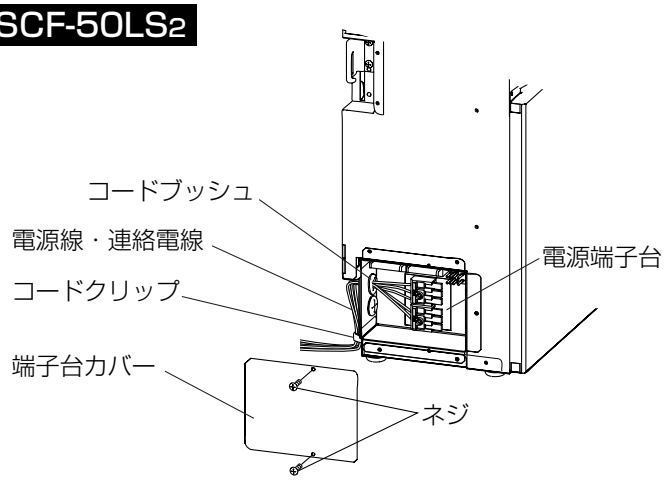
●**配線工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者である電気工事士が安全・確実に行う**
接続不良や誤った配線工事は感電や火災のおそれがあります

SCH-50ESH2
SCH-40ES2

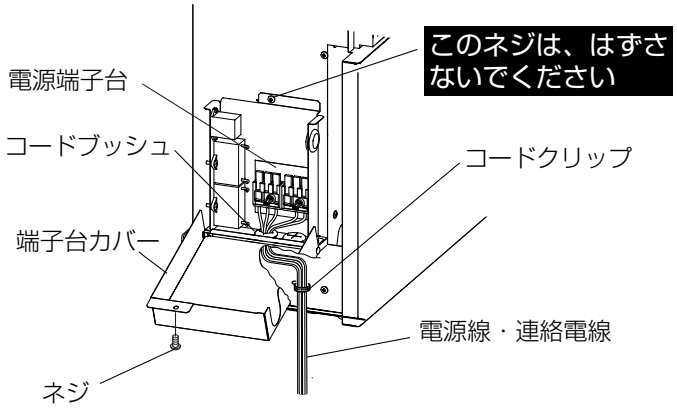


1. 配線を行う。
●電源線・連絡電線にはφ1.6の単線（例VVF）を使用してください。
2. コントロールスイッチ（システム部材：別売）を同梱の取付・取扱説明書に従って取付ける。
3. 本体の電源端子台に結線する。
(1)ネジをはずして端子台カバーをはずす。
●端子台カバー固定用ネジのみはずしてください。
(2)電源線およびコントロールスイッチとの連絡電線を本体内へ引き込む。
(3)電源線・連絡電線の先端を15㎜皮むきする。
(4)コードブッシュを通して各線を速結端子に接続する。（結線図参照）
(5)結線後、軽く引っ張って抜けないことを確認し、端子台カバーを元通り取付ける。
(6)結線部に力が加わらないように、コードクリップで電線を固定する。

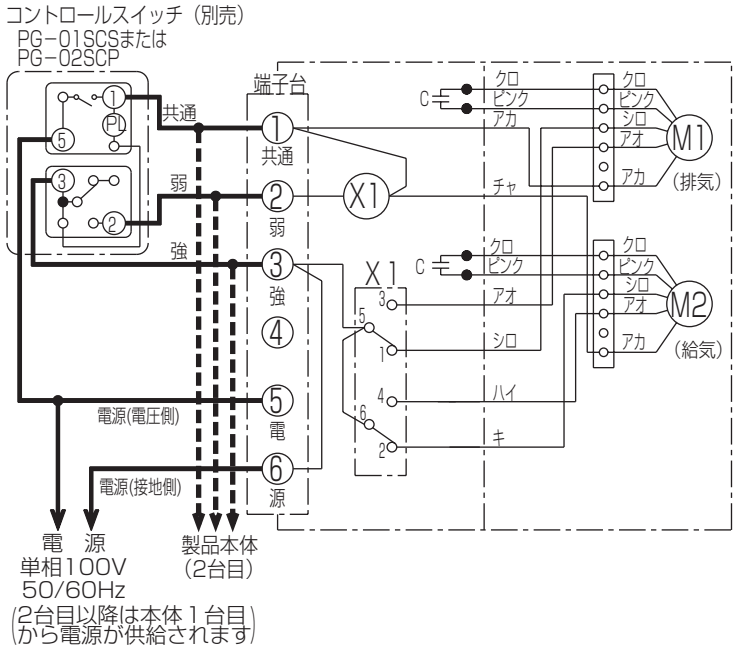
SCF-50LS2



SCF-40LS2



■結線図　※太線・破線部分を接続する。 **漏電保護用に電源側に漏電ブレーカーを設けてください**



●ロスナイとコントロールスイッチ間(複数台運転のロスナイ間含む)の配線延長合計は誤動作防止のため、100m以内としてください。

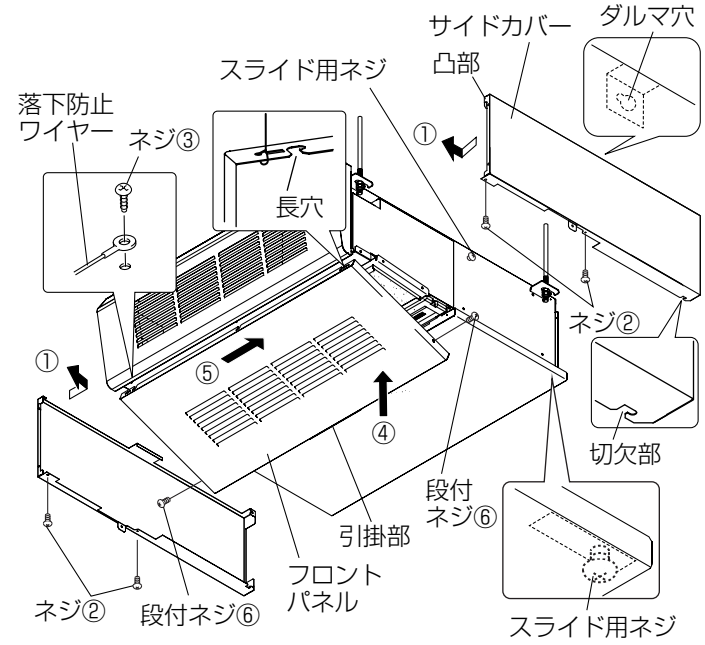
■複数台運転について

コントロールスイッチ（別売PG-01SCS、PG-02SCP）１個でSCH-40ES2、SCF-40LS2を5台まで、SCH-50ESH2、SCF-50LS2を4台まで複数台運転ができます。
※上記台数以上の複数台運転をさせたい場合は、12ページの「複数台運転をさせたい場合」を参照ください。

据付方法　つづき

――サイドカバー・フロントパネルの取付け

SCH-50ESH2
SCH-40ES2

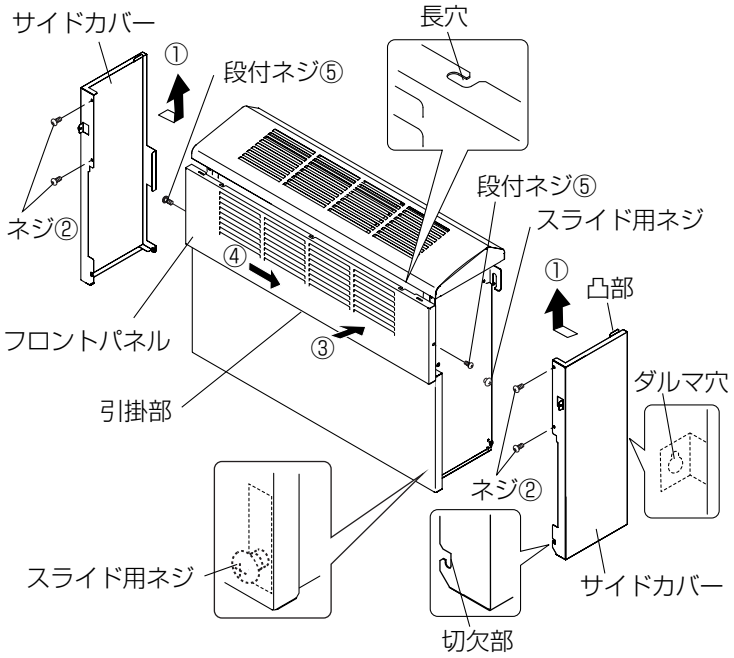


①サイドカバーを後方からスライドして切欠部とダルマ穴をスライド用ネジに引っ掛けて、サイドカバー前方の凸部を本体に差し込む。
②サイドカバーをネジ止めする。（各2本）
③フロントパネルの落下防止ワイヤーを本体に取付ける。（2か所）
④フロントパネルの引掛部を本体後方側の穴に引っ掛ける。
⑤フロントパネルの長穴をピンに引っ掛け、フロントパネルを矢印⑤の方向へずらして固定する。
⑥フロントパネル両側面を段付ネジで固定する。（各1本）

お願い

- フロントパネルは後方、天井側の順序で押し当て、フロントパネルとサイドカバー、フロントパネルと本体のすき間がそれぞれ均等になるように取付けてください。

SCF-50LS2
SCF-40LS2



①サイドカバーを下からスライドして切欠部とダルマ穴（SCF-40LS2は切欠部）をスライド用ネジに引っ掛けてサイドカバー上部の凸部を本体に差し込む。
②サイドカバーをネジ止めする。（各2本）
③フロントパネルの引掛部を本体側の穴に引っ掛ける。
④フロントパネルの長穴をピンに引っ掛け、フロントパネルを矢印④の方向へずらして固定する。
⑤フロントパネル両側面を段付ネジで固定する。（各1本）

お願い

- サイドカバー取付けの際は、スライド用ネジ（片側2か所）が確実に引っ掛かっていることを確認してください。
- フロントパネル取付けの際に締付トルクが強いと、段付ネジが破損する可能性がありますので、インパクトドライバー等の電動工具は使用しないでください。

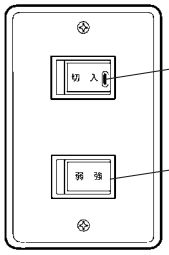
試運転

本体の据付工事が終了後、結線が間違っていないか確認して試運転を行う。
本体の電源端子台⑤⑥を短絡モードに誤結線されますと、分電盤のブレーカーが作動します。

必ず元電源を「切」の状態で次の確認を行う

	手　　順	
①	コントロールスイッチ	運転スイッチを「入」、風量切換スイッチを「弱」にする
②	抵抗の測定 （ロスナイ本体）	本体の電源端子台⑤⑥にテスターをあて、抵抗を測定する ほぼ0Ωを示したときは誤結線です 結線図を見て正しく結線し直す

元電源を入れ、次の確認を行う



1. 運転スイッチを「入」にし、風量切換スイッチを「強・弱」に切り換えたとき、風が強・弱に切り換わるか確認する。
2. 運転スイッチを「切」にする。

システム部材ご使用の場合

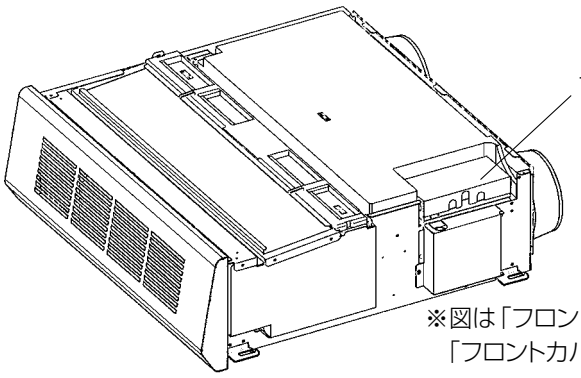
フリープランアダプタ（PZ-N53ADF）
リレーボックス（PZ-N12RB, PZ-N100RB）

■フリープランアダプタは三菱電機ビル空調フリープランシステムに接続可能にするための部材です。
■リレーボックスは空調機とロスナイを連動制御したり、複数台運転台数を増やすために使用する部材です。
上記システム部材を取付ける場合は、下記の位置に取付けます。詳しくは上記システム部材の取付工事説明書をご覧ください。

フリープランアダプタ取付位置

SCH-50ESH2　SCF-50LS2
SCH-40ES2　SCF-40LS2

※図はSCH-50ESH2を示します。

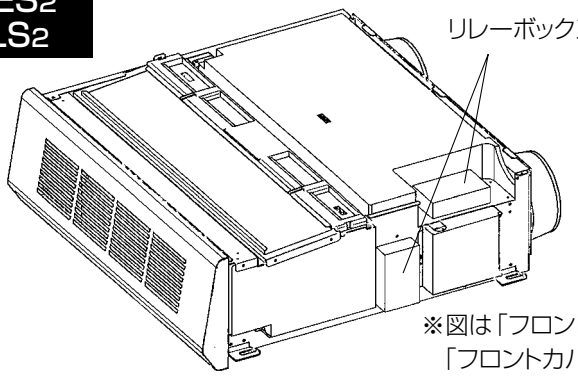


※図は「フロントパネル」、「サイドカバー」、「フロントカバー」を取りはずした状態です。

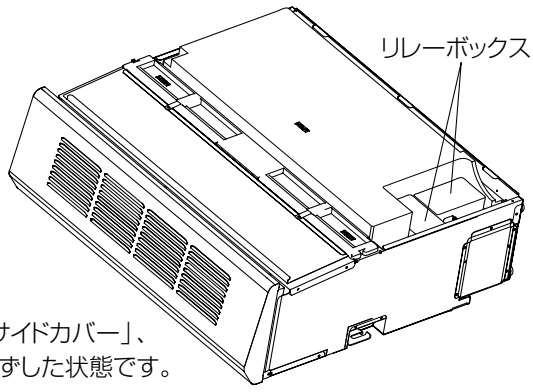
リレーボックス取付位置

SCH-50ESH2
SCH-40ES2
SCF-40LS2

※図はSCH-50ESH2を示します。



SCF-50LS2



※図は「フロントパネル」、「サイドカバー」、「フロントカバー」を取りはずした状態です。

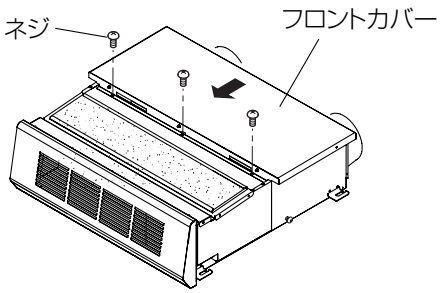
システム部材ご使用の場合　つづき

フロントカバーの取りはずし

1

フロントパネル・サイドカバーをはずす
SCH-50ESH2・SCH-40ES2は4ページ「据付前の準備」の3 、SCF-50LS2・SCF-40LS2は5ページの「据付前の準備」の2をそれぞれ参照ください。

2

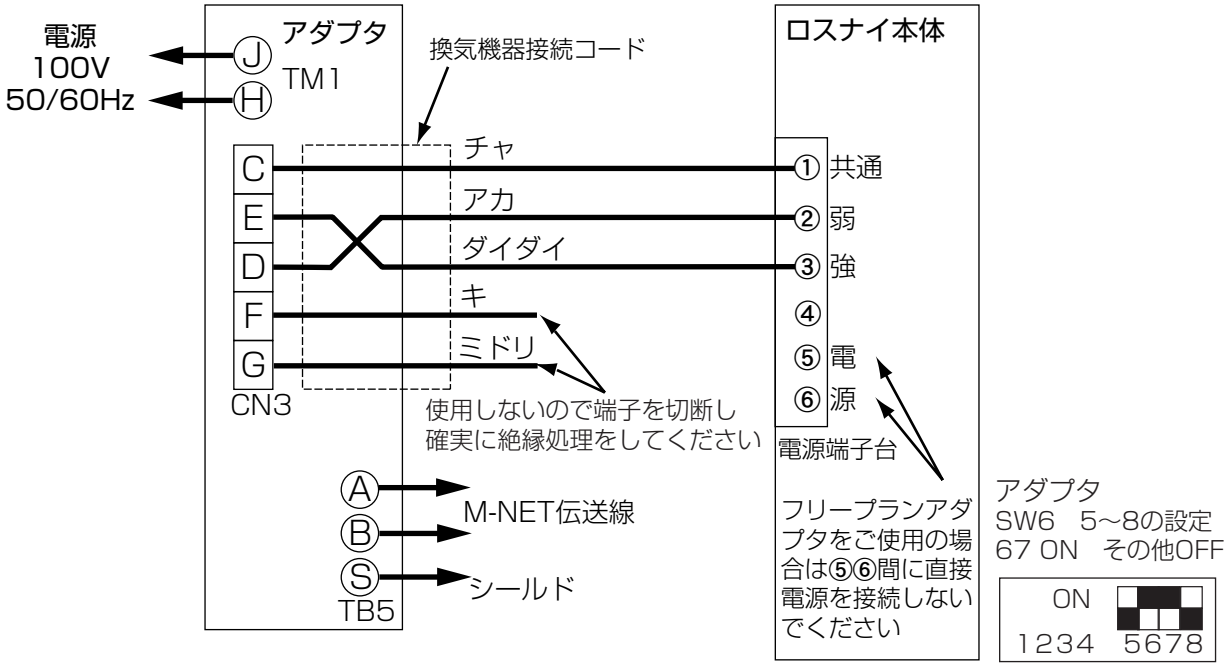


フロントカバーをはずす
①フロントカバーのネジをはずす。
②フロントカバーを矢印の方向にずらしてはずす。

（1）外部機器と連動させたい場合

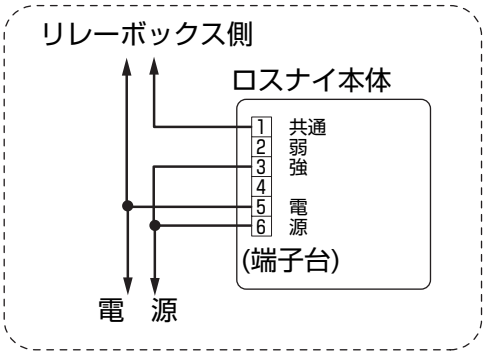
■結線方法

PZ-N53ADFの場合

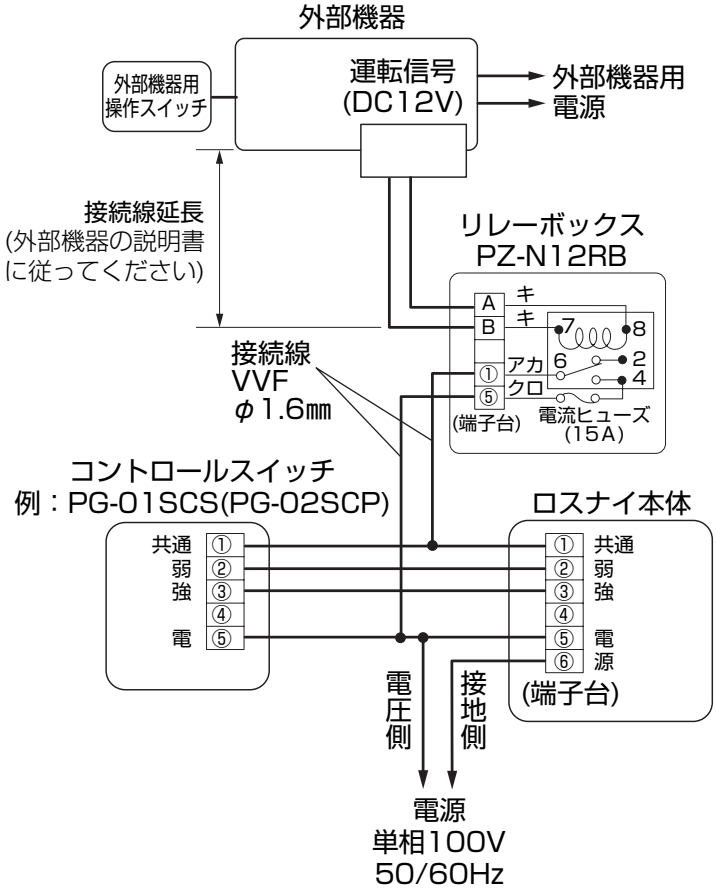


PZ-N12RBの場合

コントロールスイッチ未使用時
（強運転ON／OFF制御）

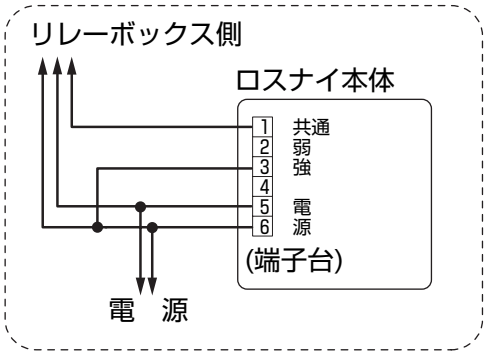


誤結線防　止	リレーボックス端子台⑤電とロスナイ端子台⑥源の接続は、絶対にしないでください。故障の原因となります。

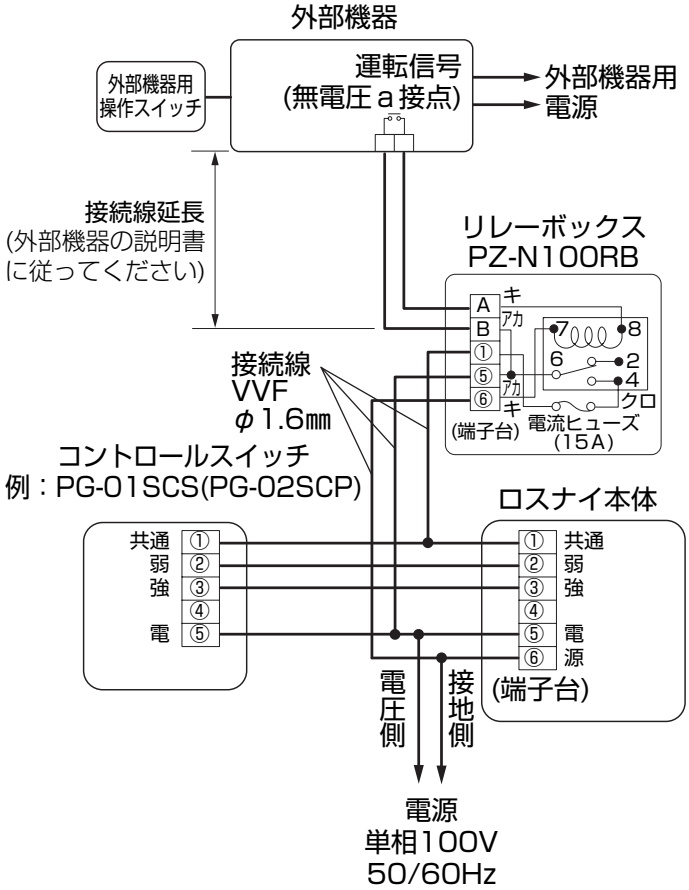


PZ-N100RBの場合

コントロールスイッチ未使用時
（強運転ON／OFF制御）

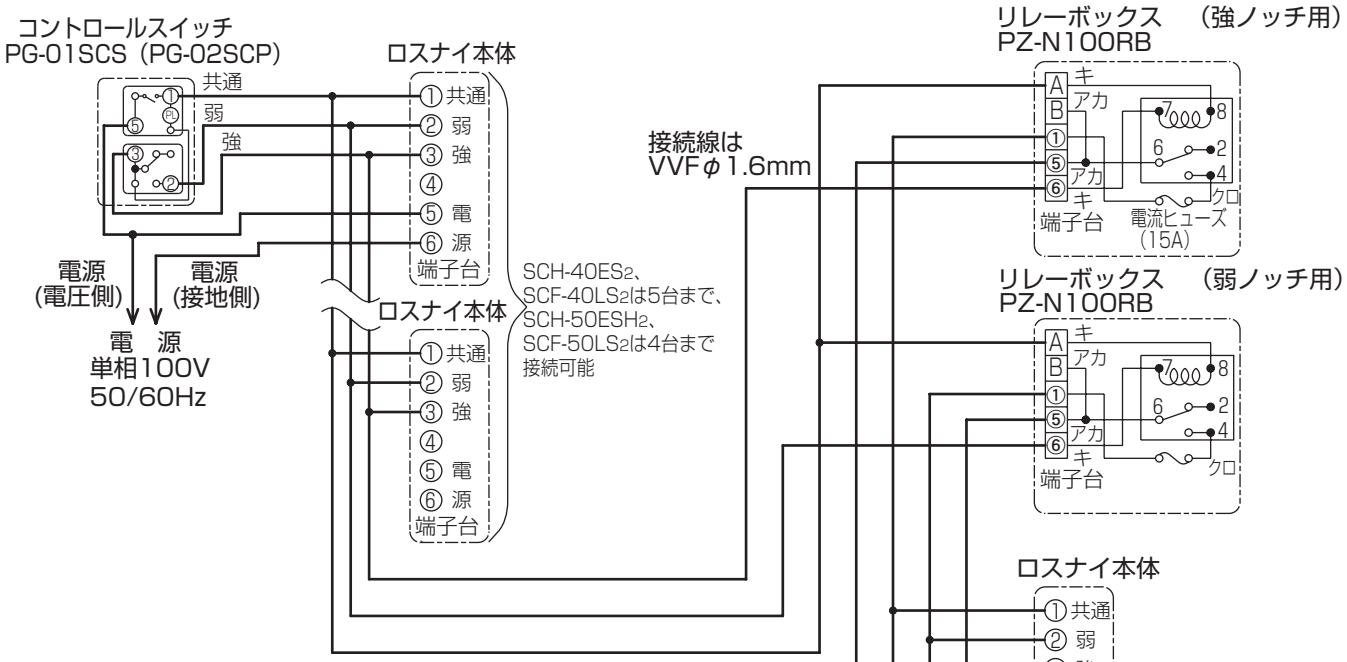


誤結線防　止	リレーボックス端子台⑤電とロスナイ端子台⑥源の接続は、絶対にしないでください。故障の原因となります。



システム部材ご使用の場合　つづき

（2）複数台運転をさせたい場合
（SCH-40ES2、SCF-40LS2は6台以上、SCH-50ESH2、SCF-50LS2は5台以上）



SCH-50ESH2、SCF-50LS2は6台まで、SCH-40ES2、SCF-40LS2は7台まで可能。それ以上の場合は本体2台増加につき、リレーボックスが2台必要になります。

本体とリレーボックスの必要数の関係		
本体台数		リレーボックス PZ-N100RB必要数
SCH-40ES2 SCF-40LS2	SCH-50ESH2 SCF-50LS2	
6～7	5～6	2
8～9	7～8	4
10～11	9～10	6
⋮	⋮	⋮

三菱電機株式会社
中津川製作所　〒508－8666　岐阜県中津川市駒場町１番３号

この説明書は、
再生紙を使用
しています。